

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	バック トゥ ザ キウリ ステージⅡ「新展開」
事業主体 (連絡先)	檜川地域おこし農家組合 (組合長 松井忠雄 0264-34-3556)
事業区分	6-(2) 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	547,181円 (うち支援金: 410,000円)

事業内容

1 「羽淵キウリ」の生産拡大

組合の中の7戸の農家が生産。共同ほ場設置した。
(資材購入)

2 「羽淵キウリ」の料理講習会を開催

塩尻市農村生活マイスターと連携し、前年度に考案した羽淵キウリを使った料理の講習会を2回行った。

3 料理レシピ集及びパンフレット作成・配布

市関係機関及び販売店に配布するのと同時に、塩尻市マイスター会議会員に配付をした。



【羽淵キウリ料理講習会】

※1 自己評価 (事業実施率) 【 B 】

事業効果

1 共同ほ場の設置によって、栽培についての研究し、栽培者同士の栽培方法の改善と統一を図れた。

栽培面積 24年度 0.4a から 25年度 2a に拡大。

2 栽培面積を拡大したことにより生産量が増加し、大いに料理講習会及び加工品に活用できた。

事業使用量 117kg その他 363kg

3 料理講習会を開催し、新聞等に記事が掲載されることにより、知名度の向上を図れた。

4 伝承地栽培認定により、生産・加工の拡大。

【目標・ねらい】

- 伝統野菜の生産の拡大
- 生産量増加による加工品の販売
- 伝統野菜の伝承地栽培認定
- 檜川地域の農業振興

※2 自己評価 (事業効果) 【 B 】

今後の取り組み

1 栽培面積の拡大

目標面積 26年度 6a 27年度 10a

2 販路の開拓

直売所以外にも飲食店等と商談を行い、販路の拡大を図る。

3 市内外への伝統野菜「羽淵キウリ」の浸透

定期的に試食会・料理講習会を開催し、レシピ集を活用してキウリを浸透させる。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある